

日本の竹ファンクラブ通信



第十八回小机竹灯籠祭りに三千人余！

SDGS 住み続けられるまちづくりを

十一月六日の「小机城址竹灯籠祭り」はたくさんのお客様を迎えて開催されました。多くの方々に支えられて十八年、ここまで育てていただいた皆様に感謝申し上げますとともにあらためて竹灯籠祭りの意義を考えます。

育てられて18年

祭りの主催は竹ファンクラブ、しかし支えてきたのは会員を中心に地域、企業、学生など多様な主体との連携です。昨今、その数は会員を上回る程です。さらに忘れてならないのが毎年祭りの開催を心待ちにしている多くの市民の暖かい声援です。今回これほどの支援を頂いたことで、まさに持続可能な循環型システムが確立した証となるでしょう。

竹灯籠が日本の竹林を救う

ところどころこの竹灯籠祭り開催の意義は何でしょうか。何千本の竹灯籠は幻想的で見る人を楽しませ

るだけでなく、竹林の再生と地域の活性化という大きなメリットを持つています。竹灯籠祭りはたくさん竹材を使い、竹の利用が進みます。祭りの準備には様々な工程があり、多様な市民が主役になります。

ご来場いただいた皆様には環境を考えるきっかけにもなると確信します。何よりスタッフのモチベーションにも繋がります。鶏が先か卵が先か

鶏が先か卵が先か

竹ファンクラブの活動理念は「竹林の保全と活用」です。祭りをやるために間伐するのか、間伐するから祭りをやるのかどちらが先かは問題でなく。祭

りが続く限り、毎年間伐が終わり、竹林が再生され、街の自然が保全されます。

結果、持続可能な住みやすいまちづくりが約束されます。

春には「国際プール竹灯籠祭り」が開催予定

竹灯籠祭りは開催日だけではありません。竹の間伐に始まり、竹灯籠製作、設置、水入れ、着火、イベント運営、片付け、残材処理と数か月に渡ります。どの工程でも結構です。一緒に持続可能な「住み続けられるまちづくり」体験してみませんか。

理事長 平石 眞司

小机城址支部

2ヶ月の休みを挟み11月6日の灯籠祭りに向け、作業開始です。雨よけ用のブルーシート張り↓倉庫から作業場所への工具の運搬設置↓そして事前に有志がピンクのテープを標した竹を切り始めました。

準備作業中は天候も崩れることも無く順調に進み、桐蔭横浜大サービスラーニングの4人や青山学院大の国際ボランティア愛好会やVUSAの多数の学生ボランティアの皆さんの協力もすぐく力になりました。(祭りについては別欄参照)

祭りを終えて片付けも済み、次の灯籠の割り作業も順調に進んでおります。宿根町お助け会を始め、ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。

担当：真板保昌

横浜国際プール支部

9月に入り緊急事態宣言が解除になって1週間、久しぶりの竹林整備活動。80数日ぶり久々に活動が再開して元気がいっぱい。枯竹や間伐竹はすべて上部中央に集積して即チツブ処理。つづく10月もモ

ウソウチク、マダケ共に間伐をし、新年早々に予定の四ツ目垣改修用の竹垣材を早くも確保開始。晩秋11月は変異株「オミクロン株」名称が発表された翌日、サブプール沿いのカリ

ンと夏みかん系の木が実りの時期、黄色の色づきが青空の下で輝くなか少し早い冬の施肥として米糠2袋30kgをモウソウチクのフラ

ット部に密度濃く埋め込んだ。終えてスコップ持つ手をレーキと熊手に替えて竹灯籠まつりメイン会場の法面に堆積した笹葉の掻き落としを開始し、間伐作

業時の安全足場確保を

しました。また斜面の法尻後退の抑止策、割竹土留め柵を延長してポケットに掻き落としした笹葉を入れました。

担当：根岸秀行



こどもの国支部

子どもたちの遊び場が点在しているこどもの国は広い雑木林の中にあります。

コロナ禍も落ち着き家族ずれもたくさん訪

担当：丹治 薫



れるようになりましたが園内は今、樹木を枯らすナラ枯れ病の急増で悩まされています。私たちが作業エリアに向かう散策路も倒木でふさがれていたり、孟宗竹林には倒れた大木が横たわっていたり、折れた大枝が地面に突き刺さり倒れ切れずの淡竹林など、除去作業が間に合わず障害箇所を避けるようにしての整備作業が続きました。

しかし、青々とした竹林の中から元気モノが選抜され大きな門松となって正面に鎮座し新年客を迎えます。

中井町支部

当期間は、北側やまゆりライン沿い中段区域を中心に、間伐・運搬・焼却及びお礼肥等の竹林整備作業を行いました。また、古くなつたトイレの外装の張替及び竹垣の再作成を活動日に継続し行っています。

11/21はイベント「マダケの竹林整備とみかん狩り」を参加者が26名で行いました。午前中は、作業班3組・BBQ班に分かれ、作業班は間伐・運搬・焼却にご活躍頂き、昼食は、BBQ班のご協力とY様にご尽力頂き、豚汁や数々のおつまみを調理頂き、恒例の魚の干物も用意しました。

みかん狩りは、今年も武井農園さんをお願いして、収穫体験と野菜を市販よりも安価で購入入致しました。今回、特に印象に残ったのは、ご両親とお子様4名(3〜12歳)で参加されたファミリーでした。

お子様の元気で明るい声が広い竹林の中に響き渡りコロナ禍を忘れる一日でした。皆様のご協力で予定通り開催出来た事、お礼申し上げます。

担当：石川正壽

都筑折本

2019年の台風により竹林頂上部に生えていた樺の大木が倒れ作業道に覆いかぶさって通行できなくなっていました。9月23日にはこれを除去しようとKさんが手鋸で枝落しから始めました。他の参加者も加わりかなりの勢いで撤去しました。10月30日にはマイチ

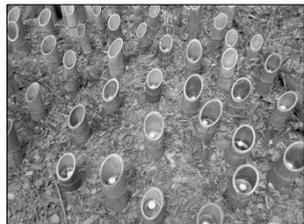
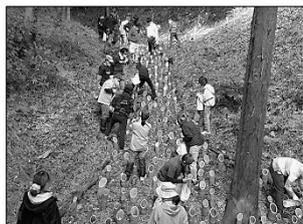
ーンソウ持参のTさんが太い幹も切断、木によって倒され枯れた竹の撤去もしました。切断した木や竹を土留めに利用して作業道の復旧に取り掛かり11月2日に二年ぶりに完全に復旧しました。

報告：山根泰裕

第18回小机城址市民の森

竹灯籠まつり

第18回目となった小机城址市民の森の竹灯籠まつりは、9月から孟宗竹の切り出しを始め10月には灯籠を作り設置をしました。今日は、その竹灯籠に水を入れ、蠟燭の芯が水で濡れてしまうと火がつかないので、ひとつひとつ水蠟燭を慎重に竹灯籠に浮かべました。水蠟燭は点灯から約5時間半もちます。



4時半の開場に間に合うようにスタツフと「あかりびと」が点灯して行きました。天の川など斜面の上の方は灯籠を足でひっかけないように慎重に点火しました。開場30分前には、既に長蛇の列。密にならないように少し早めに開場しましたが、陽が落ちてくると竹林が幻想の世界となりました。

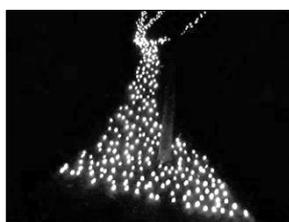
おだやかな秋晴れの良い季節ですがコロナ禍なので、例年より早い6時半受付終了の予定でしたが、その時間はまだ入場者が並んでいたのを少し延長しました。

出口付近では、とてもきれいだっただけというお声をいただきとてもうれしかったです。

年々創意工夫がなされている二の丸広場は「二の丸 おとぎワールド」と命名され、地元小学校2校の絵付け

灯籠をはじめ創作竹灯籠が、低めに且つ広くレイアウトされ自由に回れて好評でした。今年の入場者は6,000人でしたが、皆様また来年を楽しみにしてほしいです。ご来場どうもありがとうございました。

報告：久保田れい子



竹の学校

親子で学ぶ竹林

「竹林整備 次代の担い手養成！」

「担い手養成！」

11月13日は、折本の竹林整備とキウイフルーツ狩りをしました。折本の竹林には、竹林のアスレチックや竹林展望台があり、まるで秘密基地です。

今回4組13名の親子参加があり、子供は竹挽きが楽な細目ノコギリを腰に付け竹林に入りました。私の息子は小学校4年生で入会し、初めての間伐で竹を切った時の達成感を今でも忘れていません。今回の子供達も16年前の息子と同じ気持ちを感じていました。

切り倒した竹を短く切り、枝払い、竹割りや竹裂きをしました。その後、隣の果樹園で大粒のキウイフルーツ狩りをしました。参加したお母さんが「枝払いなら私にも出来そう、

「竹林で食べるお弁当うまい」、子供は「もっと遊んで行きたい！」などの声がありました。いつの日かこの子たちが竹林整備を担っていく事を期待しています。

報告：久保田れい子



竹の学校

筍料理教室

秋レッスン

城郷小机地区センターでの筍料理教室に参加しました。初めてなので期待と不安が半々のワクワク気分でした。荒木講師とテキパキさばきのA助手とO助手3名の調理テーブルに各3人、男性3名女性6名が「筍とキノコの Pasta」、「筍とベーコンのスープ」、「筍とヒジキのサラダ」をわいわいガヤガヤ調理しました。いずれのテーブルも出来栄え素晴らしき盛り付けとなり、美味しく食べて満足でした。



下つくりが完璧で時間配分もバツチリ、3班にキッチン分けられ

た食材と調味料のおかげで調理は手際よく進んで、フライパンや鍋で加熱してうまく出来ました。私は包丁で干切りをしたのは初の体験、いつもは大まかな調理で日々過ごしているの、参加して今後のキッチンに立つ場合に大変参考となりました。

報告：政所七郎

出前講座

港北区師岡小学校
総合学習
「竹トンボづくり」

社会情勢の変化で2年ぶりの小学校出前講座は12月3日に横浜市内で学級数、児童数が最多の港北区師岡小学校でした。
4年1組38名の総合学習、昼食までの授業1〜4時間目まで小休止2回、休み時間1回を挟み講師3名が進めました。

各種道具、竹材料、竹トンボサンプル、竹の性質を学んでから切



ると割るのを見てもらい、持ち込んだ細いモウソウチクで全員が竹切り体験をして、削り出しトンボは「皮を剥ぎ身のみで作るトンボ」と「皮を残すトンボ」の実演とつづきました。事前に準備した翼前部が皮付きの粗削りトンボと芯棒を配り講師が切り出し小刀で翼のバランス調整削りに回りました。生徒は布ヤスリで仕上げ、芯棒は教室管理の彫刻刀のうち、切り出し刀と平刀で削って瞬間接着剤で固定しました。

3階の体育館での飛ばし体験は高くあがるもの、低いが遠くまで飛ぶのと様々。踏んで

芯棒を折ったり、抜けたりもその場の修理で復活、教室の真剣なまなざしから一転、窓開け換気十分な広い体育館の子供達の姿からは未来への明るさが想像できました。

(事務局)

竹の学校 竹林管理コース 「竹穂垣改修」

間伐竹の利活用が、いよいよ竹取協力隊2名のサポートによる景観づくり、期待を込めた竹垣づくりの実習になりました。

小机城址でも最北の第三京浜道路・首都高速の港北インターから冷たい風が吹き込むなか静かに始まりました。一般的な造園業者の施工方法に比してここでは日本の竹ファンクラブ型の竹穂垣の施工方法を学びます。親竹・間柱の固定に打込んだ単管を使い、胴縁も間伐した太さも大小変化

ある利活用には難しいモウソウチクを使いまして。間伐竹を枝打ちして積上げてあった穂先は、この時期笹葉もすっきり落ちていて良質の穂先になっていました。親柱・間柱は単管に挿して立て込み、二つ割りの胴縁を針金で固定したあと竹穂先を立て込みました。刈込み鉋式と穂先そのままの自然型の各1スパングづつが完成しました。



(事務局)

サービスマーケティング 実習を終えて

このたびは6日間にわたり貴重な体験をさせて頂きましてありがとうございました。初めで緊張しましたが、皆様がとても優しく指導して下さい、感謝しています。

竹林整備では、竹を切り枝打ちをして力を使うことが多く、間伐は沢山の人力が必要であることや、整備をすることの大変さを学ぶことができました。

竹灯籠まつりでは、自分も実際に切った竹が綺麗に並べられ、火が灯っているのを見てとても感動しました。また、お客様が喜んでるところを見ると嬉しくて達成感を味わうことができました。

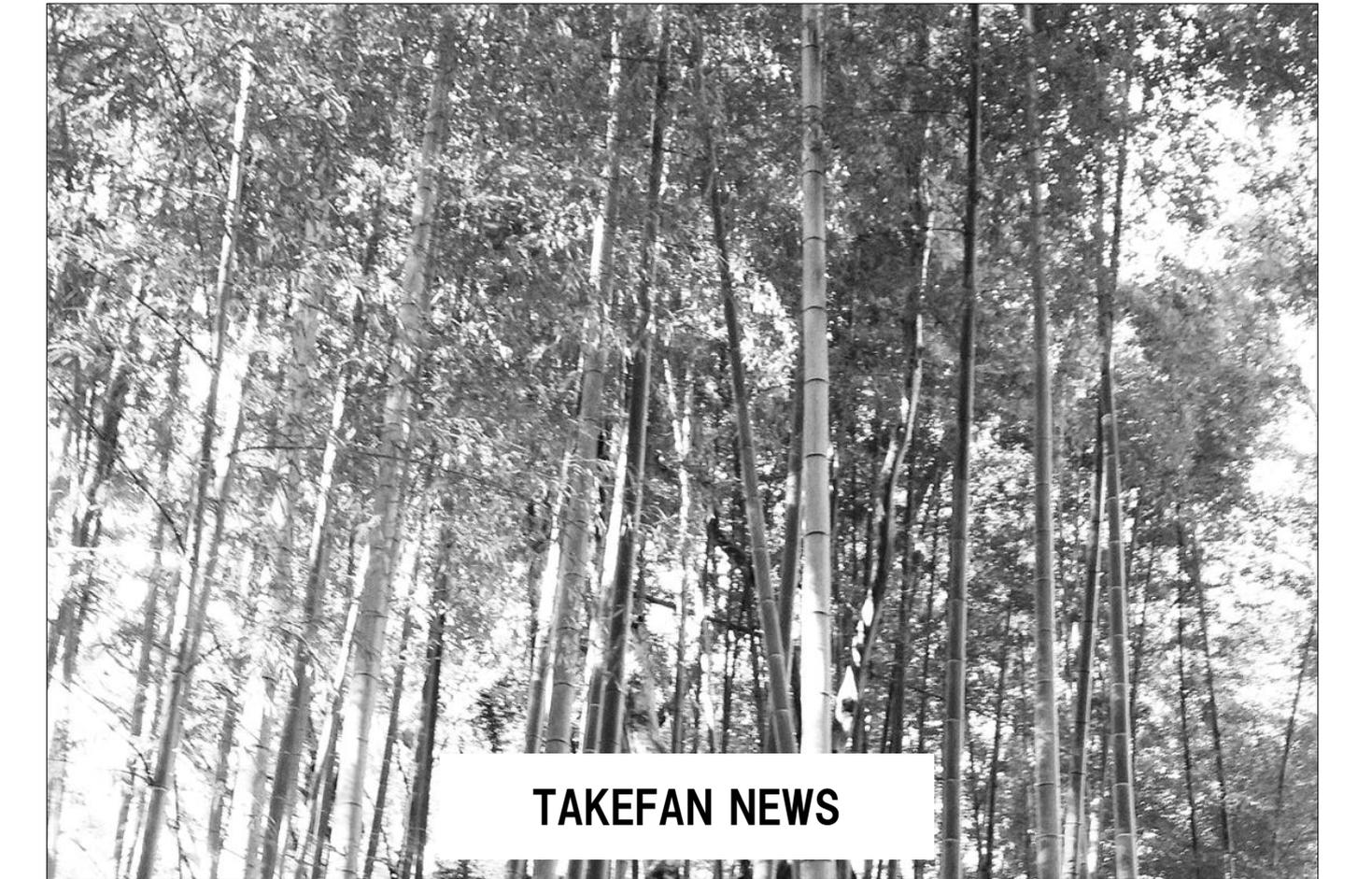
今回の実習を通して、開催準備をしている人達にとつて、お客様が喜んでくださることが一番のやりがいであることが改めて分かりました。

実習を終えた今、実習前に比べてより竹を身近に感じ、竹林整備や竹灯籠まつりにまた参加したいと思っております。

今後は体験を活かし、より良い環境づくりに向けて考えていきたいと思っております。サービス・マーケティング実習という機会を与えて頂いたお礼を申し上げます。ありがとうございます。



報告：
桐蔭横浜大学2年生
長谷川友美



TAKEFAN NEWS

Cool Takefan

◆宇宙飛行士の星出彰彦さんは、ISSの各施設の維持・保全等を実施し、4月から11月まで船長として、ISS全体のミッションの達成及び全搭乗員の安全確保に向け指揮をとり国際宇宙ステーションから帰還した◆日本実験棟「きぼう」における化学実験や他国の実験は、宇宙事業や商業化時代にも入り新しい産業、思想や文化が生まれるだろう◆変革期まっただ中、日本の竹ファンクラブは、発足原点を顧みつつ市民パワーを結集し、2030年に向かってフレキシブルに且つ粘り強く冷静沈着で目標に向かっていく◆発想を転換した改革で背伸びしない持続可能に向けて、事業形態をふるいに掛けることも必要。世界は脱炭素化問題、社会貢献活動、過疎・高齢化問題の課題解決に宇宙規模で取り組んでいる。（事務局）

【寄付金】

小机城址市民の森竹灯籠まつりご来場市民
小机商店街協同組合
小机城址市民の森愛護会

〈活動報告〉

11月14日 筍料理教室 秋レッスン
12月3日 港北区師岡小学校 出前講座
12月19日 通信1月号冬号NO.88 発行

日本の竹ファンクラブは、
下記の皆様に支えていただいています

◆神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課
「もり・みず市民事業支援補助金」
かながわの水源環境の保全

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/pb5/cnt/f7006/index.html>

◆横浜市環境創造局みどりアップ推進課
みどり・公園

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kanryo/midori-koen/>

◆中井町産業振興課

<https://www.town.nakai.kanagawa.jp/forms/top/top.aspx>

◆公益社団法人国土緑化推進機構 緑の募金

<http://www.green.or.jp>

◆ユーピーエス・ジャパン株式会社

<https://www.ups.com/jp.ja/Home.page>

◆阪急阪神ホールディング株式会社

阪急阪神未来のゆめ・まち基金

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/>

◆サービス・ツーリズム産業労働組合連合会
金太郎支援活動基金

<https://www.net-stu.com/>

◆神奈川県森林協会

<https://www.k-crk.com>

【新入会員紹介】 下線は竹取協力隊

山中啓二（横浜市中区）、谷牧子（横浜市都筑区）、
徳丸光一（横浜市都筑区）、兵頭武志（高座郡寒川町）

予定表

※学校管：竹の学校「竹林管理コース」 ※協力隊：竹取協力隊の定例活動 ※援農隊：竹取援農隊の定例活動

※イベント：詳細はチラシ又はホームページでご覧下さい。

1月9日(日) 協力隊	横浜国際プール(隣接地) 北山田どんど焼き協力	9:00～13:30	2月22日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の整備	10:00～15:00
1月11日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐	10:00～15:00	2月24日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐	10:00～15:00
1月13日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐と冬の施肥	10:00～15:00	3月5日(土) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 竹林の間伐 筥の保護柵と保護棒立 竹の活用と修了式	10:00～15:00 10:00～12:00 13:00～15:00
1月15日(土) 援農隊	都筑折本 竹林の間伐	10:00～15:00	3月6日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐	10:00～15:00
1月16日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐・竹垣作り	10:00～15:00	3月8日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐	10:00～15:00
1月23日(日) 協力隊	小机城址市民の森 四ツ目垣改修と竹灯籠処理	10:00～12:00	3月10日(木) 協力隊	中井町 竹林の整備	10:00～15:00
1月25日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐	10:00～15:00	3月13日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林の整備	10:00～15:00
1月27日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐と竹垣作り	10:00～15:00	3月16日(水) 援農隊	都筑折本 竹林の間伐	10:00～12:00
1月30日(日) 協力隊	小机城址市民の森 竹穂垣改修(四ツ目垣)と 竹灯籠処理	10:00～15:00	3月19日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠づくり	10:00～15:00
2月6日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 竹穂垣改修及び間伐 間伐と竹垣(四ツ目垣)	10:00～15:00	3月20日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠づくり	10:00～15:00
2月8日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐	10:00～15:00	3月22日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の整備	10:00～15:00
2月9日(水) 援農隊	都筑折本 竹林の間伐	10:00～12:00	3月24日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐	10:00～15:00
2月10日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐	10:00～15:00	3月26日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠設置(予定)	10:00～15:00
2月13日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐	10:00～15:00	3月27日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠設置(予定)	10:00～15:00
2月19日(土) 協力隊	こどもの国 竹林の整備	10:00～15:00			

竹に関する情報は下記宛にご連絡をお願いいたします。

E-MAIL:office141@takefan.jp URL:http://takefan.jp TEL&FAX 045-306-9993